

川崎区

かわさき下水道広報施設 **ワクワクアクア**

JR「川崎駅」東口 14 番のりばからバス  
【川 10】塩浜行きで「入江崎水処理センター前」下車  
徒歩約 1 分



エントランスでは  
歓迎画面があなたを  
お迎えするよ！



カッピー

沈砂池設備で大きなごみを取り除いた下水は、**最初沈でん池**で小さなごみを沈めてから**反応タンク**に送られ、微生物によって汚れを分解します。微生物が働くために必要な空気を送り込んでいますが、微生物の量によって空気量の調整が必要なため、24 時間監視して調節しているそうです。**最終沈でん池**ではゆっくり水を流し、反応タンク内で働きを終えた微生物を多く含む活性汚泥(おでい)を沈でんさせ、きれいになった上澄み水を塩素により消毒して東京湾に放流します。

**地下に広がりみんなを守る下水道を知ろう！**

私たちは自然の恵みとして自然界を循環する水の一部を利用して生活しています。私たちが使って汚れてしまった水をそのまま流すと、不衛生な環境となり、自然界にも悪影響を及ぼしてしまいます。地下に広がる下水道が、私たちの生活を清潔で快適に保っているのです。

**ワクワクアクア**は、「見えない下水道を探り水環境を考える」をコンセプトに、平成31(2019)年4月に入江崎水処理センター内に開設されました。広報施設として建物が独立しているのではなく、実際に運転している施設内を見学することができる国内でも珍しい施設です。

**現場とバーチャル、2段階で体験**

昭和36(1961)年に運転を開始した入江崎水処理センターは、県内で最も歴史のある下水処理施設です。見学コースの西系水処理施設は、高度処理や省エネルギー対策、再生可能エネルギーの有効利用、資源の有効利用など、様々な環境技術を取り入れた最先端の水処理施設です。

**迫力満点の大画面で概要を学ぶ**

沈砂池(ちんさち)管理棟 2 階のガイダンスルームでは、臨場感あふれるガイダンス映像で下水道の役割などを学びます。大人用、子ども用、さらには外国の方向けの映像が準備されています。

**最先端の水処理施設を実際に歩いてみよう**



沈砂池管理棟と水処理施設をつなぐ地下管廊

沈砂池管理棟から水処理施設へは、実際に水が流れている管の横を歩いて行きます。運転中の施設を見学するため、セキュリティや見学者の安全面を考慮し、水処理センターの運転操作や水質管理などの業務経験を有する職員の方が案内していただきます。

**見えない下水道のヒミツを探る！  
下水道バーチャルツアー**

沈砂池管理棟 4 階「バーチャル体験展示室」は、AR(拡張現実)技術を活用しています。カメラでとらえた現実の映像の上に様々な情報が重ねて映し出され、楽しく下水道の世界を学ぶことができます。

各自のタブレットで、興味を持った展示の AR マーカーを読み取り、水循環や川崎市の上下水道の広がり、水処理施設で見てきた下水処理のしくみ、災害と下水道についてなどを自分のペースでバーチャル体験。普段は見えない下水道について、たくさんの発見があることでしょう。



入口でタブレットを借りて出発！



映像や文字情報が次々と映し出されます。



**下水道の役割と、その大切さを改めて考えよう**

入江崎水処理センター職員の石倉さんは、「多くの方に実際の水処理の状況を見て体験してもらい、下水道の役割と、その大切さを納得してもらえたら嬉しいです。そして、下水道の重要性を日本だけではなく世界に発信していけたらいいですね」と笑顔で話してくださいました。

映像やバーチャルでの体験と、リアルな現場体験による見学ができるワクワクアクア。いつもお世話になっているけれども、目で見ることとはほとんどない下水道の世界をあなたも体験してみませんか。

普段入ることができない貯留管(ゲリラ豪雨や台風などの大雨で下水が処理しきれない時、一時的に水を貯める大きな管)の内部に潜入。360 度見ることができ、直径 5m という、その規模感に圧倒されます。

**■かわさき下水道広報施設 ワクワクアクア**

〒210-0826 川崎区塩浜 3-17-1

問合せ電話 044-287-5214(上下水道局 入江崎水処理センター)  
(受付時間 平日午前8時30分から午後4時30分)

開館時間 午前8時45分から午後4時15分  
休館日 水・土・日曜日、祝祭日、年末年始

**見学のご案内**

見学は予約制です。個人、団体、共に事前にお申し込みください。見学時間はおよそ120分です。



おすいくん



ホームページ